

令和8年度 一般選抜 1期 情報 I (2月2日実施) 解答例

1

問1 B 問2 E 問3 C 問4 A 問5 B

2

問1 (1) アA イD  
(2) ウA エE オB  
問2 (1)B  
問3 (2)B

3

問1 ア 1001 イ 11 ウ 10101000 エ 1001 オ 1101  
問2 ア A イ B ウ C エ E オ E

4

問1 アG イA ウC エE オF カH キI  
問2 2.4GHz帯は到達距離が長く障害物に強いが、電子レンジやBluetooth機器など多くの機器と周波数が重なり、干渉を受けやすく、通信速度も比較的遅い。5GHz帯は高速で干渉が少ないが、距離が短く、障害物に強い。このため、広範囲通信には2.4GHz、高速通信には5GHzが適している。

5

問1 B  
問2 D  
問3 初期時点から200時点までの期間において、風速は緩やかに上昇する傾向が観察される。一方、風向を(-1)倍してみた方向は、風速よりも早い時点から大きく変化をはじめている。また、200時点以降は両者の変化がほぼ同じ傾向で変化するように観察される。従って、風向の方が風速よりも早い時点から顕著な変化が発生しているとみることができる。  
問4 散布図の傾向と相関係数の値に基づくと、(b)が最も顕著な負の相関があると評価される。従って、風向が変化してから10分程度経過した後、風速の変化と最も顕著な相関関係があると考えてよい。  
問5 決定係数が最も高いモデルは、風向から風速の観測値を最もよく説明できることが期待される。この観点から評価すると、10分前に観測された風向の多項式で風速を説明するモデル2が、4つのモデルの中では最も推定の効果が高いと考えられる。